

貴重図書展示「絵で見る古典」

期間：2021年7月1日（木）～9月30日（木）

場所：総合図書館中百舌鳥1階貴重図書展示ケース

どうじょうじえんぎえまき
道成寺縁起絵巻 写 二巻



道成寺所蔵本を江戸時代に入って土佐派の画家が忠実に模写したもの。模本であるが、かなりの出来栄で、あるいは『考古画譜』が言う桑名松平家の模本であるかも知れない。

げんじものがたりにしきえ
源氏物語錦絵 刊 一合

三代歌川豊国画 一筆斎刊



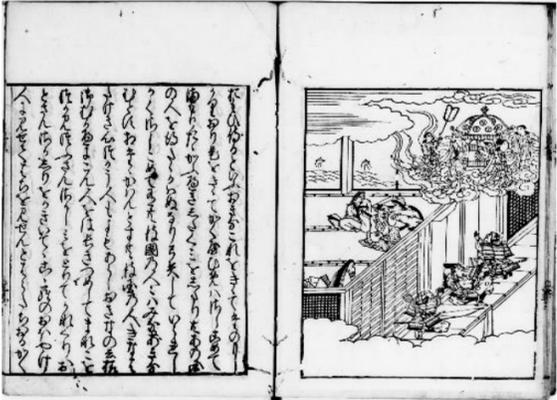
一巻一枚で五十四枚揃。巻名の由来となった和歌、源氏香図を付す。

はちかづき 写 三冊

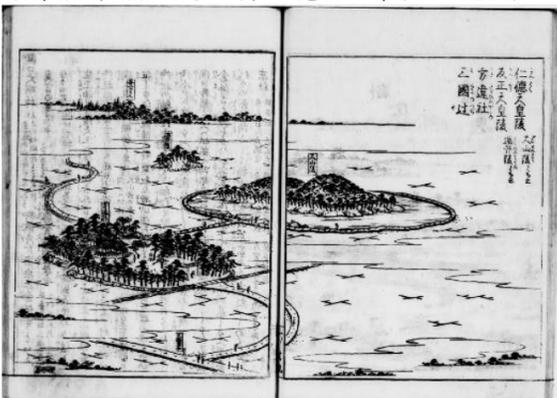


室町時代物語、奈良絵本。河内国の伝承にもとづいた継子物語。御伽草子二十三篇の一つ。版本も数多い。本書には十四枚の奈良絵が収められている。

えいりたけとりものがたり
絵入竹取物語 刊 二冊

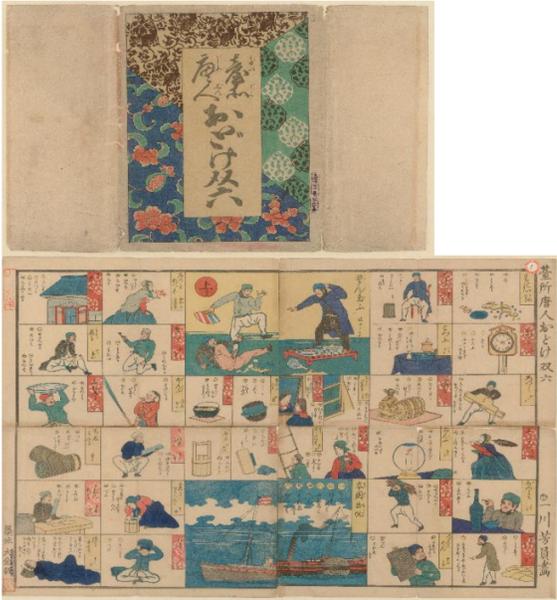


いずみめいしよすえ
和泉名所図会 刊 四冊 寛政八年(一七九六)



*名所図会…江戸時代末期に刊行された、通俗地誌および絵画のジャンル。江戸・畿内をはじめとして、諸国の名所旧跡・景勝地の由緒来歴や、各地の交通事情を記し、写実的な風景画を多数添えた書物。

だいごころうじん すごろく
台所唐人おどけ双六 一枚 袋つき
川芳員画 築地大金板 整版多色刷



ましんたいへいき
麻疹太平記 刊 小一冊 江戸後期
歌川直政 歌川芳房画



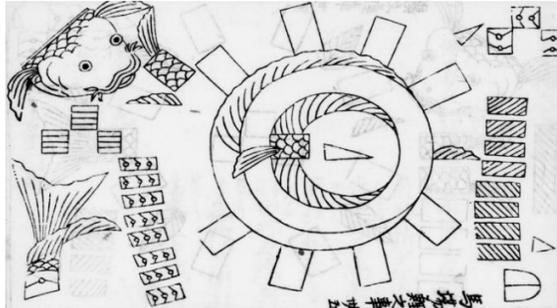
滑稽本。「雑具魚鳥山海餅酒読切大合戦」と題した合綴の中に所収されており、ほかにも「魚貝英記餅酒合戦」「膳太平記餅酒漸」などがある。

えほんことりつがい
画本古鳥図賀比 刊 一冊 文化二年（一八〇五）
松屋耳鳥齋筆



大坂の絵師耳鳥齋（にちょうさい）による絵本。「祝儀」「不祝儀」や「大胆者」「臆病者」など対立する項目を風俗画として描いたもの。

りょうりきりがたひでんしょう
料理切形秘伝抄 刊 横三冊



平安時代から執り行われてきた儀式を担う庖丁流派の料理書。